

# 新ナゴヤ島

2016.1.8(FRI) – 1.24(SUN) | 名古屋市民ギャラリー矢田 3F 第2-7 展示室

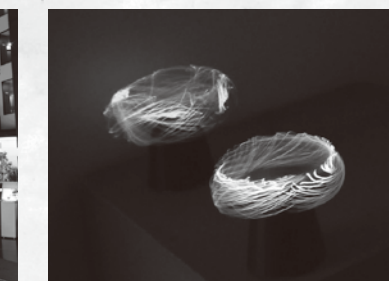
開館時間 9時30分～19時 休館日 12日(火)、18日(月) ※11日(月・祝)、17日(日)、24日(日)は17時まで【入場無料】

名古屋市民ギャラリー矢田 | 名古屋市中区大幸南一丁目1番10号 カルポート東 3F TEL/052-719-0430 HP/http://www.bunka758.or.jp/scd19\_top.html

主催：ファン・デ・ナゴヤ美術展 2016「新ナゴヤ島」実行委員会 公益財団法人名古屋市文化振興事業団 協力：世界の山吹

この地図は我々アートリサーチ団体「N-mark」が新たなアートの可能性を求めて、アート界の秘境「新ナゴヤ島」を探検した成果である。1998年一いち諸島カスガイ島、神領港を出港した。その航海は数年に渡り、幾度も大きな嵐に見舞われた。帆は破れ、羅針盤はその機能を失っていた。霧が立ち込める日が幾日か続き、食料も底をつきかけたその時だった。突然霧が晴れ渡り我々の目の前に巨大な島が出現した。上陸した我々が最初に会った女性アーティストは2階建て住居を身にまとうように、2階の床から上半身を、1階の天井から下半身を出し、身体から白い液体をたらしていた。それは儀式のようなアート作品「hanky panky pancake」であった。そこには多くの原住民が集まり、そのしたり落ちた液体を焼いて食していた。ここにはアーティストが生きるための豊かな環境があり、それを必要とする原住民が息していることを確認することができた。この島にはアートにまつわるすべてのものが揃っている。このアートにとって豊かな秘境を我々は「新ナゴヤ島」と名づけることにした。その後も探検の中で多くのアーティストと遭遇した。しかし彼らは他のどの地域とも異なる独特な作品を創りだしていた。長い年月発見されることなかった島の中で、アーティスト達は独自の方法で生き抜き、進化を遂げ、それぞれの生態系を築いていたのだ。このガラパゴス化した新ナゴヤ島には、あらゆる情報が共有され均一されるグローバル時代において、唯一オリジナルの表現や個性を育む土壌がある。そこに生息するアーティスト達それぞれの物語をこの展覧会では見ることが出来るかもしれない。この地図は、N-mark が大きな嵐に見舞われ続けてきた時代に、霧の中でぼんやりと見た新ナゴヤ島の地図である。

※地図、地名はフィクションですが名古屋に存在するアートムーブメントを担う実在の場所に基づいて描かれています。



- 1** 市民ギャラリー矢田 (矢田山脈)  
web [https://www.bunka758.or.jp/scd19\\_top.html](https://www.bunka758.or.jp/scd19_top.html)
- 2** トランジットの塔 (長者町トランジットビル)  
web <http://transit-building.com>
- 3** エビス遺跡 (エビスアートラボ)  
web <http://yebisu-art-labo.jimdo.com>
- 4** N-MARK地下牢 (N-MARK B1)  
web <http://www.N-mark.com>
- 5** 伏見地下洞窟 (伏見地下街)
- 6** 中川運河集落 森ビル遺跡 (中川運河リミコライン・アートプロジェクト)  
web <http://limicoline.com>
- 7** 高床式ブランカ倉庫 (gallery blanka)  
web <http://www.blanka.co.jp>
- 8** パルル族原住民集落 (parlwr)  
web <http://www.parlwr.net>
- 9** 県芸堂 (愛知県立芸術大学)  
web <http://www.aichi-fam-u.ac.jp>

- 10** 名芸堂 (名古屋芸術大学)  
web <http://www.nua.ac.jp>
- 11** 名造堂 (名古屋造形大学)  
web <http://www.nzu.ac.jp>
- 12** 市美宮殿 (名古屋市美術館)  
web <http://www.art-museum.city.nagoya.jp>
- 13** 県美宮殿 (愛知県立美術館)  
web <http://www-art.aac.pref.aichi.jp>
- 14** トリエンナーレ天国 (あいちトリエンナーレ2016)  
web <http://aichitriennale.jp>
- 15** ラボ物見櫓 (アートラボあいち)  
web <http://www.artlab-aichi.com>
- 16** ニ階次元塚 (学食2F次元)  
web <http://gakushoku2f.web.fc2.com>
- 17** io牛飼族 (i/o)  
web <https://www.facebook.com/ArtistRunSpaceIo>
- 18** 森部牧場  
web <http://www.ejmoribe.com>

- 19** ハポンの谷 (K・Dハボン)  
web <http://kdjapan.jimdo.com>
- 20** 謎の機械帝国NODE (NODE)  
web <http://www.node-lab.org>
- 21** 新オカザキ島  
web <http://www.city.okazaki.aichi.jp>
- 22** 新トヨタ島  
web <http://www.city.toyota.aichi.jp>
- 23** 新サク島 (佐久島)  
web <http://sakushima.com>
- 24** キワマリ村 (キワマリ荘)  
web <http://www.kiwamari.net>
- 25** 新ミナト村 (港まちづくり協議会)  
web <http://minnatomaichi.jp>
- 26** ロプロブ族集落 (Arts Audience Tables ロプロブ)  
web <http://blog.lopop.org>
- 27** プラスの沼 (+Gallery PROJECT)  
web <http://homepage3.nifty.com/plusgallery>

- 28** 石田達郎 tatsuo ishida  
web <http://www.jet-tatsu.com>
- 29** 北山美那子 minako kitayama  
web <http://ecodomo.info>
- 30** クロノズ KURONoz  
web <http://kuronoz.org>
- 31** 竹田尚史 hisashi takeda
- 32** 徳重道朗 michiro tokushige  
web <http://www.michirotokushige.com>
- 33** 森田美里 misato morita
- 34** 山下拓也 takuya yamashita  
web <http://takuya-yamashita.com>
- 35** 加藤良将 yoshimasa kato  
web <http://k-yoshimasa.com>
- 36** 鈴木優作 yusaku suzuki  
web <http://suzukki.wix.com/tikuwa>

1. 石田達郎「斜面の集落」2014 2. 北山美那子「hanky panky pancake」1999  
3. KURONoz「Tea KURONoz 2015」2015 写真：林裕己 4. 竹田尚史「double fiction」2014  
5. 徳重道朗「Framescape」2014 6. 森田美里「山をつぶす人」2014 7. 山下拓也「TALION の子 (TALION GALLERY の壁を使って蘭陵王の彫刻を制作する。)」2014-2015  
8. 加藤良将「mirageFlower」2013-2015 9. 鈴木優作「S.H.P in 亀崎 (Smash Head Painting)」2015

[新ナゴヤ島 特別関連プログラム]

- 新ナゴヤ島島長会議 2016/1/17(日) 時間/14:00～15:30 進行/北山美那子 会場/新ナゴヤ島会場 (市民ギャラリー矢田)
- 新ナゴヤ島会場 (市民ギャラリー矢田) にて石田達郎のパフォーマンスが開催されます。(不定期)
- 「MATANOZOKI – またのぞき –」矢島与萌、設楽陸の2人の個展を開催します。2016/1/12(火)～1/23(土)(予定) 会場/gallery blanka  
アーティストトーク 2016/1/16(土) 会場/gallery blanka (ゲスト/矢島与萌×設楽陸×武藤勇 (N-mark・新ナゴヤ島調査団) HP/www.blanka.co.jp

■同時開催「日本家」4F 第1展示室

- 「有効理論 / 前川宗陸個展」 2016/1/9(土)～1/31(日) 会場/エビスアートラボ HP/yebisu-art-labo.jimdo.com
- 「ポートフォリオミーティング」 2016/1/23(土) 会場/アートラボあいち HP/www.artlab-aichi.com
- 「加藤智子個展」 2016/1/8(金)～1/30(土) 会場/N-MARK B1 HP/www.N-mark.com
- 「技術のイメージ / イメージの技術」 2016/1/22(金) 19:00～21:00 会場/長者町トランジットビル 2F 講師/副田一穂氏 (愛知県美術館学芸員)  
参加費/500円 定員/40名

※都合により、イベントの内容等を変更する場合があります。最新情報はウェブサイトにてご確認ください。http://www.N-mark.com  
お問い合わせ mail/info@n-mark.com tel/090-9933-9910 (担当: 武藤) 公益財団法人名古屋市文化振興事業団 tel/052-249-9387

